



9月定例会

第160号

平成28年11月1日

議会だより

行政報告・補正予算

意見書…………… 2～4

町政のそこが聞きたい…………… 5

一般質問…………… 6～8

委員会などの動き…………… 9～10



サッカー大会



玉入れ



町内小中高生による吹奏楽の演奏



オークション・ピックリ市

ふれあいスポーツデー

平成28年
10月1日～2日

昭和62年「スポーツの日」の記念行事として発足
平成元年「はまなす国体記念」北海道スポーツ百選に認定
平成24年から前夜祭を含め2日間の行事となる

- 主催 標津町教育委員会
- 主管 実行委員会(スポーツ推進委員会・NPO法人標津スポーツクラブ「すぽっと」)

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

異常な気象状況の被害大!!

金澤瑛町長の行政報告

基幹産業の状況は

酪農業

今年は、平年に比べ5月に入ってから気温が高かったことに加え、雨が少なく日照時間が多かったことから、牧草の順調な生育が期待されたが、6月に入り低温と雨の日が多く、収穫期に向けて不安を残すものとなった。

しかしながら、収穫初めの6月下旬から気温が平年並みに回復し、一番草は概ね順調に収穫することができた。

8月に入り、数度の台風上陸や長雨の影響により、放牧環境の悪化に加え、圃場の整備作業が出来ず草地更新が大幅な遅れとなっているほか、中旬からの

二番草についても収穫作業が遅れており、収穫量と栄養価の確保が心配されている。

生乳生産量は、4月～8月中旬まで順調に推移していたが、8月下旬は伸び率が一時低下し、8月末現在では対前年比104.4%、4月からの累計で43,174ト（前年比較+1,831ト）となっている。

今後大幅に遅れた草地更新は、播種適期を逃したため、翌春に播種を行うが、本年の二番草の栄養価の低下、次年度の牧草収量と生乳生産量の低下が懸念されている。

漁業

9月1日から秋サケ定置網漁が解禁となったが、本年は河川への親魚の遡上を優先させる考えから、遅らせて9月5日からの網入れとなり、さらに3日間の網入れ期間は水揚げをせず、9月8日からの水揚げとなった。

標津漁協における9月12日までの水揚げ量は、対前年同期比で、52%減の220トとなっている。

北海道立さけます・内水面水産試験場が発表した今年の来遊予想値では、標津を含む根室北部地区の来遊予想は、前年対比で12%増の599万尾となっている。

サケ漁の盛況は、町の活気と経済活動の原

動力となるだけに、8年連続の不漁の中にある、今年こそはという思いであり、今年の水揚げに大きな期待を寄せるものである。

ホタテ漁については、8月25日に夏の操業を終えたが、漁獲量は、3,575トとなった。水揚げ額も10億2千万円と、対前年同期と同程度となっている。

異常気象の被害状況

8月17日に台風第7号が北海道日高地方に上陸して以降、約2週間のうちに北海道に3つの台風が上陸、1つが接近通過したことに加え、前線が停滞したことから、北海道有史以来の異常な気象状況となり、道内各地で大

雨による甚大な被害が発生した。

本町においても、台風本体に先行する前線に伴う降雨と、本体の降雨により、8月21日と23日に標津川合流点（水位観測地点）の水位が上昇したため、浸水する恐れのある、標津市街地の本町町内会から北側に居住している983世帯、2,015人に対して、一時「避難勧告」を発令した。

この大雨と暴風による被害状況について8月末時点で、一般住宅においては、屋根の剥離が1棟、床上浸水1棟、床下浸水4棟の被害。

農業では、牛舎の屋根剥離1



西北標津川上西5号橋の被害状況

件、集乳道（私道）の崩壊1件、新播草地の土砂流出1件、標津川沿岸地（町貸付地）の冠水が4件。

水産では、標津川サケ捕獲場ウライ箇所の流木堆積や、忠類川及び町管理の3河川において、河口及び沖合への流木の流出が発生。

町道関連では、路肩の決壊や横断管の流出。町管理河川では、5

河川で河岸決壊や橋台部の土砂流出の被害を受けた。

高齢者福祉 施設の入居状況

町内の高齢者福祉施設は、全部で4施設である。

①本年4月にオープンした、社会福祉法人・標津福祉会のサービス付き高齢者向け住宅「陽だまり」

定員は21名で、部屋数は、単身者部屋19室と夫婦部屋1室で合わせて20室となっている。

現在の入居者は15名で、いずれも単身者部屋であるが、既に単身者部屋への予約申込み者が4名いるので、今後、単身者部屋19室は全て埋まる予定となっており、残るは、夫婦

部屋1室が空きの状態である。

②社会福祉法人・標津福祉会の特別養護老人ホーム「標津はまなす苑」

定員は58名で、現在、入居者57名となっているが、近日常には1名が入所し、満床になる予定となっている。

③本年5月から、本社が北見市にある株式会社エムリンクホールディングスが運営している、認知症対応型共同生活介護施設グループホーム「夢ふうせん空」

定員は、2ユニット18名で、現在の入居者は12名であるが、経営を引き継いだ5月時点の入居者は9名であるため、3名増えた状況となっている。

④株式会社標津介護サ

ービスの高齢者対応型下宿「だんらん希望」
定員は10名で、現在、入居者は9名となっている。

入居率が高いのは本年4月から、実施している、町の高齢者福祉施設家賃等助成事業の効果要因していると思われる、町としても安堵している。

今後においても、町内のそれぞれの高齢者福祉施設の共栄・共存が、町民はもとより、町にとっても重要であることから、「標津町高齢者福祉施設等連絡会議」（平成26年4月設置）を通じて、各施設との課題検証や情報交換等を行い、相互に密接に連携を図っていく所存である。

○給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書

提 出 者

大垣 勇議員

○地方財政の充実・強化を求める意見書

提 出 者

大垣 勇議員

○林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提 出 者

山崎 英司議員

意見書

同意案件

教育委員会委員

菅原 陸美氏

標津町字川北93番地11
〈任期〉

平成28年11月1日～30年10月31日

今野美智子氏

標津町北6条西1丁目1番26号
〈任期〉

平成28年11月1日～32年10月31日

意見を求める案件

人権擁護委員

西山きくい氏

標津町字茶志骨73番地1
〈任期〉

法務大臣の委嘱の日から3年間

一般会計の補正予算

主なもの

(単位:千円)

項 目	金 額	内 容
川北バレーボール少年団全国大会出場に係る助成金	1,300	町内4業者による、川北バレーボール少年団全国大会出場に対する指定寄附
臨時福祉給付金支給事業	5,767	消費税増税に係る低所得者に配慮した臨時的給付金他
金山地域休養施設等特別会計繰出金	6,978	金山スキー場第2リフトの通信線が倒木により破損したことによる撤去、改修に係る経費
道路、河川等災害復旧工事	10,400	台風及び前線による降雨に伴う道路、河川の決壊等復旧費

健全化判断比率等を承認

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、健全化判断比率等の報告があり、承認した。実質公債比率は8.3%（早期健全化基準は25%）で、資金不足比率はない。

委員長 **高橋 幹雄**
副委員長 **吉田 智**

町長から報告のあった一般会計、特別会計（『平成27年度標津町国民健康保険特別会計（事業勘定）』など）9件について、議長と議会選出監査委員を除く8名による決算審査特別委員会を設置し付託した。

平成27年度の決算を決算審査特別委員会に付託

一般質問

町政のそこが聞きたい

平成28年第3回定例会(9月13日)で3議員が一般質問をしました。
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

小川 悠治 議員 ————— 6ページ

- 間一髪、間に合った標津川の引堤工事
～二日間連続の避難勧告～

これまでの対策・対応を検証し、今後の準備を

- 平成28年8月21日に標津町初の、23日に2度目の
「洪水の恐れがある為の避難勧告」発令!

避難者数 8月21日 244人(総合体育館・鳩ヶ丘体
8月23日 68人(育館の合計避難者数)

北海道新聞

平成28年9月16日付



■ 標津川の捕獲用の柵にたまった流木(9月3日)

- 迅速な流木初期対策を評価
未処理部、海域、海岸の対応も

木下 孝 議員 ————— 7ページ

- 教育財産である『廃校校舎』の
利活用計画及び取り壊し計画を質す



平成24年3月31日
廃校の薫別小
中学校校舎



平成24年3月31日廃校の
古多糠小中学校校舎

吉田 智 議員 ————— 8ページ

- ●生産者として
●経営者として **享受出来得る農業に!**

参考資料1

● 生乳・流通再編
と農業資材市
場を特集した

農業と経済9月号
(昭和堂発行)

- ～テーマ・ストーリーを持った広域観光で～
経済人口の拡大を!



『規制改革議論』と
現場の実情

経済人口

経済人口とは、京都府舞鶴市長、多々見良三(た
たみりょうそう)氏が考案した造語。経済人口は
観光交流人口の地域消費額を定住人口1人当
たりの年間消費額で割った数値(単位:人)
(国土交通省観光庁は、定住人口1人当たりの
年間消費額を124万円と試算している)

例 (人口5,300人の標津町に於いては、124万
円を80万円として計算)
標津町に年間48,000人の観光客が来町し、
1人5,000円を消費すると
5,000円×48,000人=2億4千万円
2億4千万円÷80万円=300人
即ち、300人の経済人口となる

参考資料3

間一髪、間に合った標津川の引堤工事
 ～二日間連続の避難勧告～
 これまでの対策・対応を検証し
 今後の準備を

引堤工事無ければ、甚大な被害も
 現時点で水道に弱さ有



小川 悠治 議員

評価できる対策

●今年3月、8年と37億円を要した国の引堤工事が完成した。危険水域を越え二日連続で避難勧告となったが、下流部（市街域部）では危険水域に至らず引堤工事が氾濫を防いだと言える。

●避難弱者の迅速な避難（ひまわり・病院・施設間の連携）
 ●防災無線のデジタル化更新、鮮明な情報提

供

●災害時の要支援者登録台帳整備で情報を共有。

●気象予報士採用（地域に密着した情報分析）

問 今後の対応は

①若草町からの避難道は建設中だが、ベキシリ山（自衛隊）からの避難道建設は？

②難しい冬場の対策は？

③情報提供の検討と、安全確保の町民意識醸成を

答 引堤工事が無ければ氾濫し甚大な被害も

ライフライン（水道・電気・し尿等）の



避難所となった総合体育館の様子

一つが欠けてもパニックになる。現時点で水道に弱さがある。

①ベキシリ山周辺の道路は、調査結果で浸水地域にならず、中標津方面の避難はできる。

②豪雪備蓄など段階的に設備中。厳寒時・真夜中・吹雪・停電が重なった場合の対応に限度有。自らの安全は自ら守る意識を。

③避難呼びかけ区分の住民周知を。深夜の発令にも住民の理解を。

車避難の渋滞に備え、早め早めに呼びかけを。

迅速な流木初期対策を評価
 未処理部、海域、海岸の対応も

鮭漁被害を防ぐため
 迅速な流木処理を実施

問 過去に例の無い大量の流木が発生し、鮭漁を目前に控え深刻な状況に至った。漁協や道と密接な連携の下、迅速に初期対策を講じ二次被害を未然に防いだことを評価する。今後も

が、基幹産業の漁業を守る立場で漁協・関係団体・道と密接に連携し速やかに対応した。今後とも、鮭漁に影響しないよう最善の策を講じたい。

答 流木処理

は緊急性を有するため、町管理の河川流木は迅速に処理した。国や道の対応には時間を有する



忠類川河口の流木



木下 孝 議員

本町にはかつて
合わせて10校あった
(右の6校+標津小学校・標津中
学校・川北小学校・川北中学校)

参考
1

標津町内廃校校舎の現況

(平成28年9月現在)

学校名	廃校年月	校舎	体育館	利活用の状況
①茶志骨小学校	昭和47年3月			
②上古多糠小学校	平成8年3月		○	体育館・職員室を地域で利活用
③北標津小中学校	平成17年3月		○	体育館・旧体育館+ひまわり 保育園園舎を地域で利活用
④忠類小学校	平成18年3月			
⑤古多糠小中学校	平成24年3月	○	○	▲予定無し
⑥薫別小中学校	平成24年3月	○	○	(2線校舎をボー川史跡自然 公園にて利活用) 1線校舎・体 育館は▲予定無し

☐現存 ☒取り壊し済み

参考
2

現存の廃校施設の全景



②上古多糠小学校



③北標津小中学校



⑤古多糠小中学校



⑥薫別小中学校

建築年度・耐用年数等

《薫別小中学校》

建物区分	建築 年度	構造	耐用年数 (耐用年度)	経過 年数
1線校舎	昭和37	木造	24年(昭和62)	54年
	昭和42	木造	24年(平成4)	49年
2線校舎	昭和49	鉄骨造	40年(平成27)	42年
	昭和50	鉄骨造	40年(平成28)	41年
体育館	昭和37	木造	24年(昭和62)	54年
	昭和46	鉄骨造	40年(平成24)	45年

《古多糠小中学校》

建物区分	建築 年度	構造	耐用年数 (耐用年度)	経過 年数
1線校舎	昭和41	鉄骨造	40年(平成19)	50年
2線校舎	昭和57	鉄骨造	40年(平成35)	34年
	昭和58	鉄骨造	40年(平成36)	33年
体育館	昭和47	鉄骨造	40年(平成25)	44年

問 教育財産である『廃校校舎』の現状は、
の通りである。
(現存の廃校施設の全景は、
の通り)

●取り壊しの方針
で進める
●利活用者無き場
合、速やかに取り
壊す
町長

教育財産である『廃校校舎』の
利活用計画及び
取り壊し計画を質す

平成24年3月に閉校した⑤古多糠小中学校と、⑥薫別小中学校の学校施設がそのまま現存している。①～④の廃校校舎は、地域住民と廃校後の利活用を協議し、要望に基づいて現況に至っている。
廃校から4年5ヶ月が経過した。老朽化した施設を放置している事は、地域の美観上、又、安全上、極めて遺憾に思う。利活用の計画予定がないのであれば、早急なる取り壊しを求める。

町長 利活用者の有無に関して、民間も含め再度調査し、無き場合は、議員の指摘の通りの景観及び危険性を考慮し、速やかに取り壊す所存である。
答 教育長 地域協議においては、利活用の計画は、現在の所、無い。財政的な問題もあるが、何れの学校施設も取り壊しの方針で進めて行きたい。

平成27年2月7日(土曜日)付

飼料高騰 乳価追い付かず
生乳出荷へ独自組織
道外メーカーに高値で

家族経営農家もMMJに
生乳出荷先切り替え
紙中の1戸が必ずから

乳価据え置き合意

農協系統外の生乳流通
MMJ道東に乳業工場
18年にもバター製造

平成28年9月10日(土曜日)付

北海道新聞

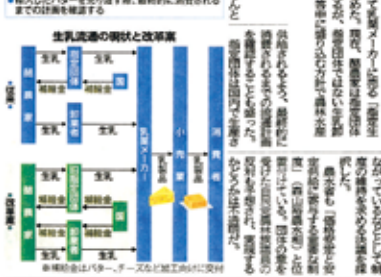
平成28年4月1日(金曜日)付

指定生乳団体「廃止を」 規制改革会議が提言

規制改革会議が提言

補給金卸業者経由でも

政府の規制改革会議は、指定生乳団体の廃止を提言した。指定生乳団体は、生乳の生産者から直接生乳を買い取り、加工乳メーカーに供給する仕組みで、指定生乳団体の廃止により、生乳の流通が自由化される。また、指定生乳団体の廃止により、生乳の流通が自由化される。また、指定生乳団体の廃止により、生乳の流通が自由化される。



吉田 智 議員

生産者として
経営者として
享受でき得る農業に！

指針を「第三次標準町
農業振興計画」に反映

北海道新聞に掲載された酪農業に関する記事 参考資料2

問 JAと町は、TMRセンターの設置、保育・育成センターの建設、新規就農者の育成を積極的に推進している。(※政策パッケージ②、③) しながら、北海道酪農においては、課題が山積している。TMR問題、経営者の高齢化・後継者不足、離農、乳価据え置き、農業資材価格の高騰、指定生乳生産者団体(エインサイダー(ホクレン)の廃止案、アウトサイダー(MMJ)の躍進等。参考資料1・2 生産者として、経営者として「享受でき得る農業」の構築が求められるが、総論としての町長の所信を求める。

答 「享受でき得る農業」の指針をJAと模索・検討し、第三次標準町農業振興計画の策定に反映して行きたい。

※人口減少時代に挑戦する政策パッケージ(2016年)《30事業》
②新しい農業経営者づくり ③農業協業法人の支援

テーマ、ストーリー
を持った広域観光で、
経済人口の拡大を！

新たな「観光商品」
の開発に努める

問 C11型蒸気機関車(C11・224)を転車台に移動し、回転させる民間プロジェクトが動き出した。町も協力し、実現を計られた。この計画自体も新たな観光の目玉になるが、更に参考資料4に挙げた如く、テーマ、ストーリーを持つて観光ポイントを、点から線へと結び、広域観光という面へと拡げて、管内全体で、経済人口(参考資料3 参照)の拡大を計って行くべきである。

「標準観光」の行く末に対する所信を質す。

答 建議の件も含め、旅行エージェンシー、観光関係者、町民を交えて、標準の観光的魅力を探索し、新たな、標準の「観光商品」の開発に努め、経済人口の拡大を目指す。

参考資料4 例 テマストーリー「標準観光」

サケ科魚類展示種類数(18種30種類) 日本一

標津サーモンパーク

サケ(鮭)繋がり

旧標津線繋がり

レールバス(キハ22・168)

旧中標津駅

《旧川北駅》

SL(C11・224)+転車台

《旧標津駅》

ボー川史跡自然公園

サケと人と自然とで紡いで来た一万年の遺跡を保全

標準観光

標準の地は、鉄路においては終着駅であり、始発駅。サケ(鮭)にとっては、終着地であり、長い旅の始まりの地である。

研修会報告

平成28年度 北海道町村議会議員研修会

7月5日 於：札幌市コンベンションセンター

総務経済常任委員会

北海道町村議会議員研修会に5名参加

平成28年度の北海道町村議会研修会が、7月5日に札幌市コンベンションセンターにて開催され、田中議長以下、総務経済常任委員会委員4名、計5名が参加した。

この研修会は、北海道町村議長会が、議員の資質向上の為、毎年この時期に開催されており、標津町議会においては、二つの常任委員会が交互に参加している。



(撮影：吉田 智議員)

講演

(午後1時10分～
午後4時30分)

講師

●高野 誠鮮氏
たかの じょうせん

プロフィール

日蓮宗 本證山妙山寺

第41世住職

立正大学客員教授

新潟経営大学

特別客員教授

総務省地域力創造

アドバイザー

地方創世アドバイザー

(氷見市)

〈テーマ〉
「ひとを動かし、
まちを動かす」



石川県羽咋市役所農
林水産課職員時代の平
成17年、過疎高齢化が
進む同市神子原地区を、
年間予算60万円で立て
なおすプロジェクトに
着手。神子原米のブラ
ンド化とローマ法王へ
の献上、イターン若者
の誘致、農家経営の直
売所「神子の里」の開
設による農家の高収入
化等で4年後に、限界
集落の脱却に成功し、
「スーパー公務員」と
呼ばれる。又、平成23
年より自然栽培米の実
践にも着手。その経験
談を講演。

〈テレビドラマ
「ナポレオンの村」
の原作〉



(高野講師の著書)

講師

●長谷川幸洋氏
はせがわ ゆきひろ



プロフィール
東京新聞・中日新聞
論説副主幹
ジャーナリスト

〈テーマ〉
「日本の行方」
政局・政治展望」

STVの日曜日の人気番組に出演中の氏は、鋭い論調にて、日本の政局・政治展望・政治家・官僚・メディア・更には中国を痛快に一刀両断。(正に「そこまで言って委員会」) 結びに、年末の衆議院解散を暗示して、講演を終えた。

※ 北海道新聞 平成28年7月17日(日曜日)付 テレビ欄 『そこまで言って委員会NP』

常任委員会の動き

町内外行政視察研修

総務

経済



大西工場長より説明を受ける委員

8月25日、JA標津旧C団地牧場にある「標津町人工腐植製造所」の行政視察を行った。大西光博工場長より、「標津町循環型環境システム」で誕生した循環型腐植化物の新製品「Neo・F」の説明を受けた。

標津町人工腐植製造所

成を触媒を使って人工的に再現した初乳の腐植化物である。この製品の最大の特長は、土壌機能を回復するフミン酸（HA）と植物生育を促進するフルボ酸（FA）の2つの効果で植物に直接働きかけ、生産力を高める事である。現在、地元酪農家や銀座ミツバチプロジェクト、日本甜菜製糖(株)総合研究所等と連携し、人工腐植による植生比較試験をし、出口開発に努めている。



人工腐植製造試験機

文教

福祉

建設

7月12日、社会福祉法人北海道社会福祉事業団が経営をしているなかしべつ地域生活支援センターを視察した。平成23年4月より、根室圏域（1市4町）における障がい者の地域生活の支援を行っている各事業者の統括、管理、調整を行うため開設した。

センターでは、根室圏域で生活する障がい児・障がい者に対する一環した支援サービスを提供することを目的として、さまざまな事業を実施している。

具体的には障がいがあっても地域の中で安心して暮らしていけるよう、日常生活に関する相談、助言や食事、入浴、介助等を必要に応じて生活全般にわたる支援を行っている。

また、利用者の一人ひとりが自分のもつ力を最大限に発揮し、「自分の暮らしは自分でつくる」という意欲を育てる支援をしている。

主な施設名称、定員等



ノンノ（アパート型）の外観

- ・ふれあい寮
- （下宿型7名）
- ・アシル（7名）
- ・ウタル（7名）
- ・エプイ（7名）
- ・ニクル（7名）
- ・ノンノ（アパート型、7名）

調査の結果

道の駅設置を前提として考えた場合、サーモン科学館を核としたサーモンパーク関連施設中心の場所が望ましい。

しかしながら、近隣の人口規模、冬期間の交通事情などを考慮すると地の利において集客が見込めないことが予想され、費用対効果の面から、現段階では「道の駅を設置すべきでない」とするものである。

但し、標津町としてのサーモンパークは「観光交流拠点施設」として自他ともに認知された集客施設であり、分散している観光施設の集中により交流人口の増加を図る観点から、サーモンパークの機能充実が必要との意見があったことを付け加えて調査報告とする。

〔設置すべきでない主な理由〕

- 交通網から考えて、道の駅設立の絶対的要件である地の利があるとは思われない。
- 冬期間の利用が望めない中で、現在閉園中の期間及び夜間も常に開放することになるため維持管理費が増大する。
- 道の駅の指定を受けただけでは、インパクトあるPR効果と直接的集客に結びつかないとする。

〔サーモンパーク機能充実の意見〕

- 最たる課題は、施設のリニューアルを考慮したサーモンパーク全体の短・中・長期の「整備計画」であるとする。
- 現在分散している集客施設（北方領土館）の集約、連携強化と観光ルート化（近隣町との協力やポー川史跡自然公園、鉄道用転車台等の町内他施設との導線の確保）を検討すべきである。
- サーモンパーク（科学館、ハウス）の集客には、魅力づくり、出かけて見たくするような仕掛けが必要不可欠であるため、運営・経営方法を今一度検証し改善すべきである。
- 広い敷地を活用し、福祉機能を兼ね備えた高齢者買物交流広場など、住民利用にも力点を置く必要がある。
- 町の魅力づくりの一環として、清潔で使いやすい観光トイレ（団体及びバリアフリー対応）の整備を行うことによりイメージアップを図り、観光客増加による地域振興を推進すべきである。

委員会の動き

特別委員会調査報告

於：平成28年
第3回標津町議会定例会

《平成28年9月13日》

「道の駅」の
3機能



「道の駅」

道の駅設置に
関する調査検
討特別委員会

9月13日開会の第3
回定例町議会に於いて、
「道の駅」設置に関す
る調査検討特別委員会
の高橋幹雄委員長は、
「現段階では、
道の駅を設置すべ
きではない」
と特別委員会の調査の
結果を報告した。
(詳細は左記参照)

特別委員会は昨年9
月に設置（議長を除く
9名で構成）され、本
年8月まで計12回の検
討会を開催。本年5月
11～13日の日程で、道
内の「道の駅」8施設
の行政視察を挙行。
(詳細は本誌159号
8～9頁参照)



標津サーモンパーク



北方領土館

稿 寄

『あいさつ』

標津町立川北小学校長

粥川 かゆかわ

敏宏 としひろ

「おはよう」というと
 目が覚める
 「いただきます」というと
 お腹がすく
 「いってきます」というと
 元気にいける
 「ありがとう」というと
 気持ちがいい
 「ごめんなさい」というと
 はっとする
 「おやすみなさい」というと
 いい夢みられる
 あいさつってうれしいな

この詩は、今年の3月末、4年前に閉校となった古多糠小中学校の校舎内に用事があって入ったとき、中央廊下に掲示されていたものです。目にしたとき、素敵な詩だなと思いました。調べてみると、愛知県乙川東小学校福島圭一郎くんの作品であったこともわかりました。

「あいさつができるか」というような項目で、子どもたちは「9割くらいができる。」保護者からは「7割くらいができる。」一方、先生方はできると答えたのが6割ほどでした。子どもたちの判定基準は、学校で先生方にあいさつできれば、「できた」となります。保護者は、家でのあいさつができなければ「できた」にはなりません。先生方の中には学校の先生に限らず、家族、地域、学校に来るお客様など、全ての人が対象となっていていまして、それらができなければ「できた」という評価はしないのです。また、声の大きさや明るさなどもあります。「明るくあいさつができる」ということをしっかりと子どもたちに示す必要があります。

さて、この詩です。あいさつについてとてもよく考えさせられるのではないのでしょうか。あいさつは何のために、誰のためにするのか。それを福島圭一郎くんはズバリとこの短い詩に示しています。大切なことは、あいさつは「させられて」することではないという思いが伝わってきます。

標津町では毎年新学期が始まると、地域をあげて「あいさつ運動」に取り組んでいます。本校でも昨年は「あかるく、いつも、さきに、つつましく」を合言葉として取り組みました。今年度はこの詩を通して子どもたちにお話しました。今年さらには先にできるから「あいさつ」、後からするのは、あいさつではなく「返事」になつてしまふ、ということを取り組んでいます。もちろん返事も大事ですが、あいさつは自分の心を開くことで相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく積極的な働きかけです。あいさつはコミュニケーションの第一歩です。たった数秒の行いですが、このひとつの所作がその人となりを通してしまふ

ものです。あいさつがきちんとできる人は、勉強や掃除や係・当番活動など自分の責任をしっかりと果たせる人です。言葉遣いが丁寧な人は心やさしい人です。こつこつと努力を積み重ねることができる人です。子どもたちに伝えていきます。

今年は子どもたちのあいさつの声が大きくなっているのを感じています。また、登校途中に、遠くの方から大きくよく聞こえる声で元気にあいさつしてくる子どもがたくさんいて、とてもうれしくなります。中には丁寧にお辞儀をしながらあいさつをしてくれる子どももいます。こちら丁寧に戻さなくてはいいけません。「させられてる」あいさつではないのが伝わってくるからです。

私たち教職員は、子どもたち一人ひとりが喜んで通い、毎日笑顔で楽しく学び、安心して過ごせる学校を目指し、全力をあげてよりよい川北小学校づくりに取り組んでいきたいと考えております。

編集室

※
 これは、あなたの手帳です
 いらいらのことが、ここには書きつけてある
 この中の、どれか、せめて一つ二つは
 すぐ今日、あなたの暮らしに役立ち
 せめて、どれか、もう一つ二つは
 すぐには役に立たないように見えても
 やがて、この先の暮らしがくつんと
 いっしょに、あなたの暮らし方を支えよう
 そんなふうな
 これは、あなたの暮らしの手帳です

右の言葉は、NHK連続テレビ小説『と姉ちゃん』のモチーフ「暮らしの手帖」初代編集長の花森安治氏に依る。《いつしかあなたの暮らし方を変えてしまふ》との強い意欲を持つて、ペンで日本人の生き方を変えた。容赦のない商品テストは、消費者の為だけではなく、モノづくりの基本を忘れるなと言う企業への叱咤激励であったと言う。

(吉田 智)

※創刊号より現在まで、表紙裏面に明記されている花森氏の編集理念



花森 安治
 (1911~78年)

〈創刊号〉

議長 田中 孝幸

広報特別委員会

委員長 大垣 吉田
 委員 勇 智
 委員 委 委
 委員 金田 山崎
 委員 照男 英司